

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-540	14-106	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>The modest alcohol consumption reduces the incidence of fatty liver in men: a population-based large-scale cohort study. 男性において適正飲酒は脂肪肝の発生を減らす：集団ベースの大規模コホート研究</p>		
執筆者		
Hashimoto Y, Hamaguchi M, Kojima T, Ohshima Y, Ohbora A, Kato T, Nakamura N, Fukui M.		
掲載誌		
J Gastroenterol Hepatol. 2015 Mar;30(3):546-52. doi: 10.1111/jgh.12786.		
キーワード		PMID
脂肪肝、飲酒量、コホート研究		25238605
要 旨		
<p>目的： 近年の横断的研究で適正飲酒が脂肪肝と負の関連を示す可能性について報告されている。しかし、超音波検査で診断された脂肪肝の進展において飲酒量に着目した大規模な縦断的研究はない。</p> <p>方法： 10年以上繰り返し健康診断を受けた健常な日本人 5,437人を対象とした。本研究では標準化された質問票で現病歴、生活習慣を問い、標準化された超音波検査で脂肪肝の診断を行った。週あたりの総飲酒量を計算し、以下の4段階に分類した。飲まないあるいは最少量、軽度、適正、高度飲酒量(<40、40-140、140-280、>280g/週)。脂肪肝の進展に対する飲酒量のハザード比はCoxハザードモデルにより算出され、年齢、BMI、生活習慣を調整した。</p> <p>結果： 10年間の追跡期間中、追跡開始時に脂肪肝を有した男性の10%、女性の20%で継続的に脂肪肝を診断された。男性においては、脂肪肝の進展に対する、軽度および適正飲酒の調整ハザード比は各々0.72(95%信頼区間 0.60-0.86、p<0.001)および0.69(0.57-0.84、p<0.001)であった。しかし女性においては有意でなかった。</p> <p>結論： 健常男性において軽度から適正飲酒者で脂肪肝の新規発症が有意に抑制された。</p>		